



公開ヒアリングの様子。写真左から順に三木評価員、正木評価員、和田評価員

95 事業の対応案を決定

市は、平成26・27年度の2か年にわたり、事務事業を横断的に点検・評価することで、予算等への反映や類似事業への活用につながる「改革・改善サイクル」に取り組んでいます。

2年目となる本年は、95事業を対象に一次点検・評価を行い、さらに点検が必要な14事業について、二次点検・評価として、去る10月12日に開催した第4回改革・改善サイクル評価員会議において、評価員による所管部署との公開ヒアリングを行いました。

点検・評価結果に係る対応案

点検・評価対象事業 95 事業の事業選定時と対応案における「今後の方向性」の推移は、以下のとおりです。

| ＜事業選定時＞ | | → | ＜対応案＞ | |
|---------|-------|---|-------|-----|
| 今後の方向性 | 事業数 | | 事業数 | 事業数 |
| 改善 | 19 事業 | | 39 事業 | |
| 拡充・重点化 | 5 事業 | | 5 事業 | |
| 現状のまま継続 | 71 事業 | | 50 事業 | |
| 休止・終了 | 0 事業 | | 1 事業 | |
| 計 | 95 事業 | | 95 事業 | |

これらの点検・評価結果を踏まえて、対象95事業の市としての対応案を取りまとめました。

今後は、市議会や市民の皆さんからのご意見を踏まえ、最終的に点検・評価結果に係る「対応方針」を確定し、見直し・改善内容を平成28年度当初予算等へ反映していきます。

なお、事業ごとの対応案の詳細については、枚方市ホームページ（行政改革部のページ）に掲載していますので、ご参照ください。

「行革かわら版」は、本市の行政改革に関する情報を、タイムリーに発信していきます。

平成27年度 部の運営方針

「追補版」を作成

平成27年10月20日に公表した市長の「所信表明」や「補正予算」を踏まえ、平成27年度に各部において新たに取組む重点施策・事業を示した「平成27年度 部の運営方針（11月追補版）」を作成しました。

詳細については、枚方市ホームページ（行政改革部のページ）に掲載しています。

「部の運営方針」とは

「部の運営方針」は、各々が毎年度、どの施策に重点的に取り組むのか、行政改革や職員の人材育成等をどのように進めるのか、といった具体的な取り組みを示すものです。

重要施策の推進へ

プロジェクトチームを発足

市長が所信表明に掲げる重要施策について、組織横断的に課題の把握や整理を行い、効果的な対応策や施策の検討を進めるため11月27日付で以下の庁内プロジェクトチームを設置しました。

★定住促進・人口誘導プロジェクトチーム

定住促進等に向け、本市の魅力や活力をより高めるための効果的で実効性のある施策を検討。

★子どもの課題対策検討プロジェクトチーム

貧困の連鎖や虐待、不登校といった子どもの抱える課題への対策を検討。

★徴収率向上対策検討プロジェクトチーム

さらなる財源確保に向け、全庁統一的な債権管理の仕組みづくり等を検討。

改革のスペシャリスト 上山信一氏

本市の特別顧問に選任

市は、市政改革を積極的に推進するにあたり、専門的立場からの支援や提案、助言等を得るための「枚方市特別顧問」を設置し、11月27日付で慶應義塾大学 総合政策学部教授 上山信一氏を選任しました。

＜編集・発行＞

枚方市

行政改革部

TEL 841-1228

gyozai@city.hirakata.osaka.jp